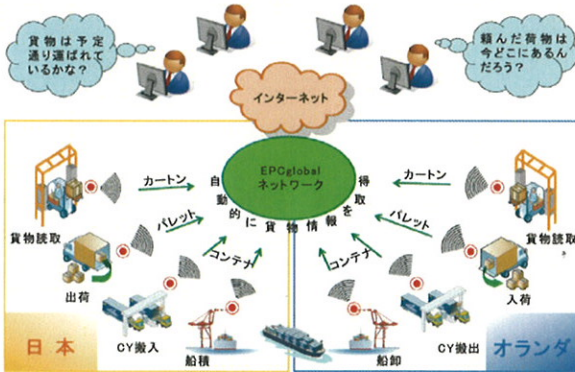




RFID技術による国際物流「見える化」への取り組み

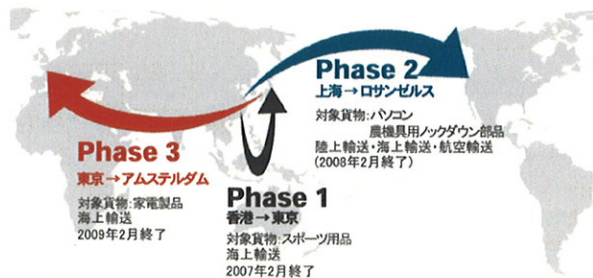
サプライチェーン上で貨物輸送情報を共有



きめ細かい輸送が求められている現代の国際物流において、常に貨物の輸送状況を把握することは、非常に難しくなっています。MTIでは、RFID技術による貨物自動認識システムを利用して、複雑なサプライチェーンにおいて各主体間で輸送情報を共有できる仕組みを構築するため、日本政府や国際機関と共に国際物流の「見える化」に取り組んでいます。

経済産業省「データキャリアの国際標準化事業」(2006年度～2008年度)

MTIでは経済産業省と共に、RFID技術の国際標準化に取り組んできました。各年度毎に実施した3回の実証実験を通して、荷姿に合わせた様々なタイプのRFIDを活用し、世界中のどの地域においても適用できる技術体系を構築することを目的としています。最終年度である2008年度では、日本-オランダ間でコンテナ40本分の貨物のトラッキングを行う大規模な実証実験を実施し、「見える化」が国際物流の高度化に寄与することを検証することができました。



場所	輸送状況	RFIDの読取
東京港	Vanpool	空コンテナのピックアップ
↓↓	陸上輸送	倉庫へ移動
千葉	倉庫	カートンをパレタイズしさらにコンテナに積み込む
↓↓	陸上輸送	東京港へ移動
東京港	コンテナターミナル	船積み
↓↓	海上輸送	オランダへ移動
アムステルダム港	コンテナターミナル	船卸し
↓↓	陸上輸送	倉庫へ移動
アムステルフェーン	倉庫	コンテナからパレットを積み降ろしカートンにばらす
↓↓	陸上輸送	アムステルダム港へ移動
アムステルダム港	Vanpool	空コンテナの返却

EPCglobalでの国際標準規格審議

全世界100カ国以上の国で活動を行っているGS1の組織であるEPCglobalにおいてMTIは物流部会の議長を務めています。実証実験を通してユーザーの立場から検証してきたことを標準規格審議の場へフィードバックしていくことで、国際物流に関わる様々な利用シーンにおいて誰もが使い易い規格作りを行っています。EPCglobalでは、ISOなど他の標準規格団体やWCOなどの国際機関とも協調しながら国際標準規格の策定を行っています。

GS1 The global language of business

Global standards for automatic identification	Global standards for electronic business messaging	The environment for global data synchronisation	Global standards for RFID-based identification
Rapid and accurate, item, asset or location identification	Rapid, efficient & accurate business data exchange	Standardised, reliable data for effective business transactions	More accurate, immediate and cost-effective visibility of information